

AO11

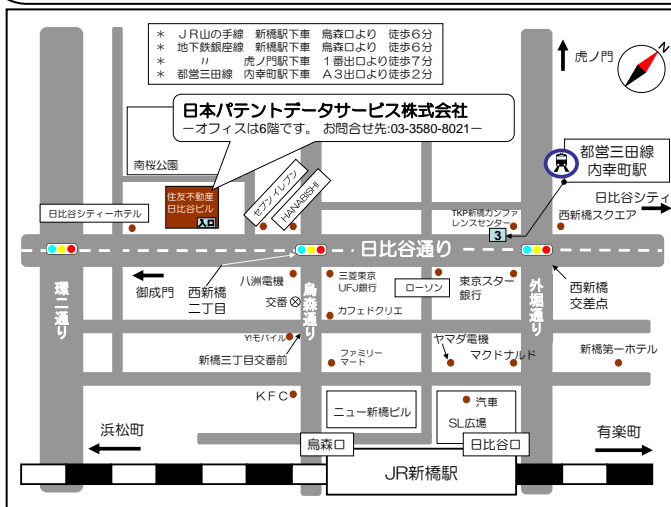
# 製品開発過程における特許実務

初 級

製品開発過程の特許実務で必要になる特許法等の基礎知識  
実際の業務での関わりをわかりやすく解説

本講座では、製品開発の実務の流れの中で、どのような特許実務が必要になるかをチェックしながら、特許実務上で必要になってくる特許法等とのかかわりを理解し、特許実務に合わせて、特許法等の基礎知識を理解することにあります。自社のために何をすれば良いのかを独自に判断（活動）するための基本的な特許知識を習得します。

これから新たに知的財産関係の実務を始める方、実務を行っているが今一つ実務面での特許法等とのかかわりが理解し難いとお悩みの方へお勧めする基礎実務講座です。



**講師：**船木 隆英  
日本パテントデータサービス(株) 顧問  
元 キヤノン(株) 知財研修室 室長

**場所：**日本パテントデータサービス(株) セミナ室  
東京都港区西新橋2-8-6  
住友不動産日比谷ビル6F  
TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

**時間：**1日間コース (10:00~16:00)

**受講料：**16,000円 (税別)

**定員：**24名 (先着順申し込み)

**日程：**9月7日 (金)

【申込締切】 セミナー開催日の3営業日前までとさせていただきます。

【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpdps.co.jp  
(受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

## 「製品開発過程における特許実務」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名		
住所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 9月7日					
受講者氏名			所属			知財業務経験 <input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail						
受講者氏名			所属			知財業務経験 <input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail						
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード: )					

備考: ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)

【セミナースケジュール】 製品開発過程における特許実務

10:00	講師ご紹介
10:05	<p>1. 製品開発と知的財産権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品開発における知的財産権の役割と活用</li> </ul> <p>2. 知的財産権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産権と産業財産権（特許、実用、意匠、商標）の概要</li> </ul> <p>3. 特許実務上で必要になる特許基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許制度の目的</li> <li>・特許権の内容と効力</li> <li>・一般的な製品開発過程における特許実務の流れで必要になる特許基礎知識</li> </ul> <p>①事業計画～基礎技術研究～商品開発まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他社技術の動向調査</li> <li>・他社問題特許の対応</li> <li>・研究開発者の心構え</li> </ul>
11:45	昼休憩
12:45	<p>②商品開発～商品販売前まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発、設計、試作、生産段階での発明発掘・出願対策</li> <li>・特許出願手続に必要な書類</li> <li>・発明が保護されるまでの手続</li> <li>・特許法で保護される発明（事例問題1・2・3）</li> <li>・出願公開制度、国内優先権制度（事例問題4）</li> <li>・出願分割（事例問題5）</li> <li>・職務発明制度、拒絶査定に対する審判</li> </ul>
14:50	休憩
15:00	<p>③商品販売後～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警告</li> <li>・特許請求の範囲と特許権侵害の判断</li> <li>・特許権の侵害</li> <li>・特許権侵害の判断</li> <li>・特許権侵害の対応（警告を受けた場合の対応は？事例問題6）</li> <li>・異議申立てと特許無効審判、訂正審判</li> </ul>
15:50	質疑・応答
16:00	終了

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。